



かしこく ・ やさしく ・ たくましく

# 西中野

平成 28 年度 1 1 月 (463) 号  
平成 2 8 年 1 1 月 1 日  
中野区立西中野小学校  
校長 杉 渕 尚

## 実りの秋に

副校長 富永 暢久



後期が始まって三週間が経ち、秋の深まりが感じられる頃となりました。「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」…と言われるように、何をするにも適した季節です。

先月の26日(水)に、区連合運動会が武蔵台小学校で行われました。西中野小学校・鷺宮小学校・上鷺宮小学校・武蔵台小学校の6年生が参加し、互いに技を競いました。

また、29日(土)には、しらさぎ学級の児童が特別支援学級連合運動会に参加し、練習の成果を発表したり、一緒に運動を楽しんだりしました。

当日はもちろんのこと、当日までの練習にも一生懸命取り組んだ子どもたち。結果も大事かもしれませんが、そこまでのプロセスにこそ、子どもたちの成長が見られます。目標に向けて頑張る姿は、とても素敵でした。

今月11日(金)・12日(土)は、「西中野展」です。子どもたちがそれぞれの「思い」を込めて作った力作が、体育館いっぱいに展示されることとなります。

今は、作品の仕上げに取り組んでいるところですが、作品づくりに夢中になっている子どもたちの姿も、またとても良いものです。自分の「思い」をどんどん表現していく子もいれば、じっくり丁寧に仕上げている子もいます。周りの子の作品が気になってしかたない子や、何度も手直しをする子もいます。

でも、どの子どももみんな、自分の「思い」を自分なりに表現しようと一生懸命です。西中野展当日は、そんな子どもたちの作品に込められた「思い」を感じていただければ、と思っています。

「実りの秋」といわれますが、「実り」という言葉には「草木や穀物などが実を結ぶこと」と「努力してよい結果を得ること」の意があります。「実りの秋」は当然前者の意ですが、学校生活を送っている子どもたちにとっては、後者も当てはまるのではないのでしょうか。春からこつこつと培ってきたものが、きっと力となっているはずです。成果として現れる「実り」もあれば、心の中で静かに大きく育っている「実り」もあることでしょう。

西中野の子どもたちの「心」も、大きく実っていると信じています。

十一月の生活目標  
「正しい言葉づかいをしよう」

生活指導部

「失礼します。」「ありがとうございます。」「ありがとうございました。」「失礼しました。」「用があって、職員室に来た児童には、この三つの言葉を使うように職員室のドアの前に貼ってあります。緊張した面持ちで、貼ってある紙を確認しながら用事を伝えようとしている姿に清々しさを感じます。

「ありがとうございます。」「ありがとうございます。」「おはよう。」「おはようございます。」

相手によって、かける言葉が違っても多いと思います。相手に応じた正しい言葉づかいができていると、周りで聞いている側も、とても気持ちがよくなります。

ご家庭でも、「正しい言葉づかい」についてこの機会にぜひ話題にしてみてください。

保健目標

「姿勢を正しくしよう」

給食目標

「感謝の気持ちで  
食事をしよう」